

普及活動情勢報告（令和 3 年 9 月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

窒素濃度を管理して、健全なイチゴ苗をつくろう！～イチゴ苗の硝酸態窒素濃度調査～

令和3年 イチゴ産地中の硝酸態窒素測定結果

氏名：

高知市

日付	チップ濃度 (ppm)	この1週間の 肥培管理	備考
7月21日	24	前日比15日増	—
7月28日	24		高い濃度になっています。メイゴット処理後株まで濃度低下しないよう、前日 濃度により、前日より少ない濃度で調整していますが、まだ高めの値です。同 様にしていく必要があります。
8月4日	32	7/28/30メイゴット処理	
8月11日	20	前日比2倍増	前日より中程度の値であり、濃度の効果はまだ発揮されているようです。満 てましょう。前日の値も上げてみてもらいたいです。
8月18日	14		前日に引き続き低い濃度でした。調整は効いていますが、前日より一歩 前日、濃度の値が下がります。同様に調整した水肥調整も行って濃度 調整もお願いします。
9月7日	LOW		長所の影響もあり、LOWでした。定植までは低値を定植させるため、す も前日の値もよれていくかです。調整が難しい（難しい）してい は調整もお願いします。
9月18日	LOW		前日濃度が下がります。調整が難しく、濃度ももう少し高めに

配布している調査結果表

普及所では、JA 高知市介良支所・五台山苺部 15 戸を対象に、7 月 20 日から定植時期まで、1 週間毎にイチゴ苗の硝酸態窒素濃度調査を行っています。

管内では近年、炭そ病予防や花芽分化誘導のための低窒素で管理するため、芯止まり株の発生が問題になっています。そこで、窒素濃度の数値結果とともに、今後の栽培管理項目を掲載した資料を作成し、配布しています。農家からは、「今週は濃度が低いから液肥を散布しようかな」などの声が聞かれ、数値を参考にした管理が行われるようになってきています。

普及所では今後もイチゴ産地の育成に向けて支援を行っていきます。

新規土壌還元処理資材の試験を行っています ～露地ショウガ実証ほ～

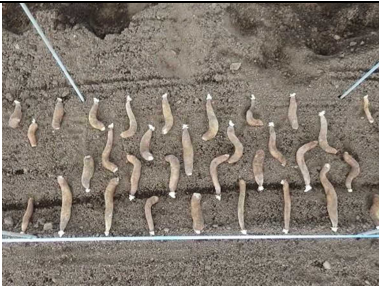


散布の様子

8 月 31 日、㊦生姜生産組合の露地ショウガ生産者ほ場で、根茎腐敗病対策として新規土壌還元処理資材「糖蜜吸着資材」の処理を行いました。この資材は大豆皮にサトウキビ糖蜜を吸着させた資材で、米ぬか等に比べてより深くまでトマト青枯病菌や線虫に対して効果があります。また、クロルピクリンなどの土壌消毒剤に比べて環境に優しい土壌還元処理資材といえます。昨年度、ショウガ根茎腐敗病が発生し、休耕しているほ場で試験を行っています。生産者から「資材は広げやすく、混和作業もスムーズにできた」と作業性については好評でした。

今後、普及所は処理後の菌密度や酸化還元電位計の結果をまとめ、普及性を評価します。

グロリオサの輸出拡大に向けて ～密植栽培試験～



密植区（慣行の 2 倍）

三里園芸部花卉部会は、令和 2 年度からグロリオサの輸出拡大に向けて、希少品種の早期増殖を目的に球根養成試験を実施しています。今年度は、密植栽培の効果を検討する計画で、9 月 1 日、実証ほに球根を定植しました。

実証農家からは、「効率的に肥大させるためには、どの程度の栽植密度が適しているのか明らかにしたい」と意欲的な声が聞かれました。

普及所は、輸出拡大につながるよう、今後も実証試験の実施や農業技術センター等の関係機関との連携を図ります。

HACCP に沿った衛生管理の実践に向けて ～七ツ淵筍加工組合勉強会～



勉強会の様子

9月3日、七ツ淵筍加工組合を対象に、10月からの四方竹出荷に向けて HACCP の勉強会を開催し、14名が参加しました。

普及所は、これまで組合で話し合われて作成した衛生管理計画と作業工程の再確認や、営業届出の提出について説明し、HACCP に沿った衛生管理の実践に向けた体制作りを支援しました。参加者からは、「作業の時の服装は統一でなければならないか?」、「計量器の校正の頻度はどれぐらいがいいか?」等、積極的な質問がありました。

普及所はこれからも継続的に、HACCP に沿った衛生管理の取組を支援していきます。

常温煙霧機の現地実証試験が始まります ～常温煙霧機設置予定ハウス現場確認～



ハウスを下見する様子

9月13日春野にて、農協とメーカー、普及所の3者で、新たに常温煙霧機を設置する予定の4ヶ所のハウスの下見を行いました。各ハウスに必要な機器類の個数や設置場所について確認ができました。

常温煙霧機とは、薬液を細かい煙上の霧にして散布する機械です。農薬をハウス内にくまなく散布でき、タイマー機能による無人防除も可能なため、近年再注目されるようになりました。JA 春野胡瓜部会では、この常温煙霧機を試験的に導入し、作業の省力化や適期防除による高品質・多収化を目指しています。

普及所では、今後、調査結果等を情報提供することで、常温煙霧機の普及を行っていきます。